



発掘調査の様子（写真提供：公益財団法人茨城県教育財団）

ふるさと歴史館 第32回企画展

鹿の子遺跡群

— 古代の巨大鍛冶工房 —

場 所：ふるさと歴史館（石岡市総社 1-2-10 石岡小学校敷地内）

開催期間：令和5年4月5日(水)～令和5年7月2日(日)

開館時間：10:00～16:30

※新型コロナウイルスの状況により予定が変更になる場合があります

休館日：毎週月曜（ただし、月曜が祝祭日のときはその翌日）

鹿の子遺跡群

鹿の子遺跡は昭和54年に第1次調査が行なわれ、現在でも継続的に調査が行なわれています。特に常磐道建設に伴う第2次調査（いわゆる鹿の子C遺跡）では連房式竪穴と呼ばれる長大な鍛冶工房が検出され、全国的にも注目されました。出土遺物では小札（こざね）という甲冑の部品が多く出土したことから、中央政府による対蝦夷政策のために武具を生産した工房と考えられています。また、鉄製品の仕上げに使用される漆を含んだ紙（漆紙文書）も検出され、その内容は古代の公文書であることが判明しました。今回の展示ではこれらの鹿の子遺跡の発掘調査の成果をご紹介します。



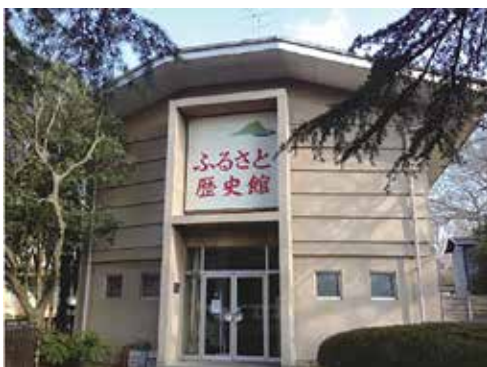
平瓦転用砥石

鉄製品の仕上げには砥石が使用されます。鹿の子遺跡では本来の石製の砥石も多く出土していますが、平瓦を転用した砥石も出土しています。その他、比熱しているものもあり、屋根に葺くというよりは何か転用するためにもたらされた瓦が多く出土しています。



墨書土器「矢作家」

土器に字が書かれているものを墨書土器といいます。墨書土器は個人名や地名、建物の名前、吉祥句などが記載されます。この墨書土器は「矢作」とあることから、鹿の子遺跡の武器作りと関係する可能性があります。



石岡市立ふるさと歴史館

開館時間 午前10時～午後4時30分
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
交通 JR常磐線石岡駅西口より徒歩約12分
駐車場あり
住所 石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内
電話 0299-23-2398

